



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月8日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ 上場取引所 東
 コード番号 5271 URL <http://www.toyoasano.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 泰右
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 敏彦 (TEL) 055-967-3535
 四半期報告書提出予定日 2021年10月14日 配当支払開始予定日 2021年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	7,335	1.8	△148	—	△141	—	△54	—
2021年2月期第2四半期	7,207	19.3	109	△29.0	96	△38.7	35	△59.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 △51百万円(—%) 2021年2月期第2四半期 54百万円(△36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	△42.07	—
2021年2月期第2四半期	27.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	16,114	3,400	20.7
2021年2月期	16,877	3,484	20.2

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 3,329百万円 2021年2月期 3,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年2月期	—	25.00			
2022年2月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.5	240	△21.2	220	△25.6	140	△12.7	108.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年2月期2Q	1,440,840株	2021年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	145,194株	2021年2月期	145,124株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年2月期2Q	1,295,676株	2021年2月期2Q	1,295,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、首都圏や大都市圏を中心として新型コロナウイルス感染症の拡大が断続的に生じ、緊急事態宣言の発令が繰り返されるなど、個人消費に対して強い下押し圧力がかかった状況が続きました。一方で、海外経済は力強い回復基調にあり、好調な輸出が日本経済を下支えしました。また、企業の設備投資も回復基調に転じており、新型コロナウイルス感染症の流行状況が厳しい中でも、景気は回復基調を維持しているものと推測されます。

当社グループの事業分野であります建築業界におきましては、景気回復にあわせて、建設需要も回復基調が続くものと見込まれますが、景気の回復および建設受注の回復が当社の景況感の改善に波及してくるまでには、まだ時間を要するものと見込んでおります。

当社グループの事業分野でありますコンクリートパイル事業におきましては、全国需要は前年同期に対して横ばい圏内となりました。当社の主力商圏であります関東および静岡におきましては、関東が微減、静岡につきましては増加となりました。コンクリートパイルの需要量は、昨年度および一昨年度が大変厳しい状況にあったことを踏まえすと、需要の量的水準は、横ばい圏内の当連結会計年度も大変厳しい状況が継続しております。

また、コンクリートセグメント事業につきましては、当連結会計年度の初めより大型物件の製造を開始し、計画通りに進捗しておりますが、全国的に需要が減退するなか、採算性が非常に厳しい状況が続いております。

不動産賃貸事業につきましては、静岡県沼津市で賃貸しているショッピングセンターが、7月の記録的な大雨に見舞われましたが、ショッピングセンターの迅速な対応により事業上の被害は軽微であり、今後も安定した収益を見込んでおります。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

①コンクリート二次製品事業

コンクリート二次製品事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門につきましては、当社の主力商圏である関東および静岡は、関東が微減、静岡については増加となりました。このような状況において、当社は積極的な営業活動を行いました。が、原材料価格高騰の影響の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,545百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期比94.2%減）となりました。

②コンクリートセグメント事業

当連結会計年度の初めより大型物件の製造を開始し、計画通りに進捗しておりますが、全国的に需要が減退するなか、採算性が非常に厳しい状況が続いており、コスト構造の徹底的な見直しを行い、収益の確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は978百万円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益は1百万円（前年同四半期比71.5%増）となりました。

③工事業

当第2四半期連結累計期間において、コンクリート二次製品事業と同様、積極的な営業活動を行い、多くの工事を予定しておりましたが、大型物件を中心に多くの物件で着工が計画よりも遅れ、完工が第3四半期以降にずれ込んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,713百万円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益は69百万円（前年同四半期比68.0%減）となりました。

④不動産賃貸事業

当第2四半期連結累計期間の売上高は97百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は67百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,335百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業損失は148百万円（前年同四半期は109百万円の利益）、経常損失は141百万円（前年同四半期は96百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は54百万円（前年同四半期は35百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、762百万円減少して16,114百万円となりました。これは主に未成工事支出金が333百万円増加し、受取手形及び売掛金が491百万円、現金及び預金が911百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、678百万円減少して12,714百万円となりました。これは主に長期借入金が1,098百万円増加し、電子記録債務が843百万円、短期借入金が493百万円、未払金が385百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて83百万円減少して3,400百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月9日の決算発表時に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたしました。具体的な内容につきましては、2021年9月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,580,563	1,669,544
受取手形及び売掛金	3,133,111	2,641,130
電子記録債権	842,170	764,047
商品及び製品	528,368	632,804
原材料及び貯蔵品	196,779	257,137
未成工事支出金	306,961	640,278
その他	67,073	176,217
流動資産合計	7,655,028	6,781,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,257,246	1,740,373
土地	4,884,384	4,964,446
その他(純額)	1,796,176	1,286,675
有形固定資産合計	7,937,807	7,991,495
無形固定資産	192,999	200,256
投資その他の資産		
投資有価証券	352,162	330,207
その他	744,796	817,161
貸倒引当金	△5,525	△5,525
投資その他の資産合計	1,091,433	1,141,843
固定資産合計	9,222,239	9,333,595
資産合計	16,877,268	16,114,756
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328,719	3,247,836
電子記録債務	2,362,461	1,518,756
短期借入金	2,663,365	2,169,886
未払法人税等	105,549	25,241
その他	998,267	781,429
流動負債合計	9,458,363	7,743,149
固定負債		
長期借入金	2,971,064	4,069,344
退職給付に係る負債	430,585	444,748
その他	533,089	457,056
固定負債合計	3,934,739	4,971,148
負債合計	13,393,103	12,714,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	720,420	720,420
資本剰余金	706,858	706,858
利益剰余金	2,302,497	2,215,598
自己株式	△106,650	△106,772
株主資本合計	3,623,125	3,536,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,872	10,243
退職給付に係る調整累計額	△222,479	△216,943
その他の包括利益累計額合計	△209,606	△206,700
非支配株主持分	70,646	71,054
純資産合計	3,484,165	3,400,458
負債純資産合計	16,877,268	16,114,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
売上高	7,207,289	7,335,036
売上原価	6,183,585	6,540,633
売上総利益	1,023,703	794,402
販売費及び一般管理費	914,605	942,469
営業利益又は営業損失(△)	109,097	△148,066
営業外収益		
受取利息	522	701
受取配当金	11,056	9,286
受取保険金	—	13,986
その他	8,887	13,262
営業外収益合計	20,467	37,236
営業外費用		
支払利息	29,270	28,288
その他	4,131	2,666
営業外費用合計	33,401	30,954
経常利益又は経常損失(△)	96,162	△141,783
特別利益		
固定資産売却益	—	41,793
投資有価証券売却益	—	18,444
特別利益合計	—	60,238
特別損失		
固定資産除却損	—	121
投資有価証券評価損	21,098	—
特別損失合計	21,098	121
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75,064	△81,666
法人税、住民税及び事業税	39,868	△27,542
法人税等合計	39,868	△27,542
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,195	△54,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	382
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	35,147	△54,506

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,195	△54,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,330	△2,629
退職給付に係る調整額	5,805	5,562
その他の包括利益合計	19,135	2,932
四半期包括利益	54,331	△51,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,191	△51,600
非支配株主に係る四半期包括利益	139	408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	3,314,319	795,680	2,999,945	97,343	7,207,289	—	7,207,289
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	51,939	—	—	15,709	67,648	△67,648	—
計	3,366,258	795,680	2,999,945	113,052	7,274,937	△67,648	7,207,289
セグメント 利益	126,027	888	218,669	67,795	413,380	△304,282	109,097

(注) 1 セグメント利益の調整額△304,282千円には、セグメント間取引消去11,298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△315,581千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンクリート 二次製品事業	コンクリート セグメント 事業	工事業業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
(1)外部顧客 への売上 高	3,545,096	978,412	2,713,631	97,895	7,335,036	—	7,335,036
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	76,322	—	—	13,618	89,940	△89,940	—
計	3,621,418	978,412	2,713,631	111,514	7,424,977	△89,940	7,335,036
セグメント 利益又は 損失(△)	7,266	1,524	69,986	67,667	146,444	△294,510	△148,066

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△294,510千円には、セグメント間取引消去17,592千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△312,103千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益又は損失の調整後の金額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。